



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 4 号

発行日

平成 24 年 6 月 30 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

会長 原 清



とがしいせき
尖石遺跡(茅野市)

挿絵：谷沢信憲

ユネスコ憲章一前文よりー

戦争は人の心の中で生まれるものであるから

、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

UNESKO（国際連合教育科学文化機関）は、第二次世界大戦が終わった
1945年、人類が二度と悲慘な戦争を繰り返さない様にとの願いを込めて
憲章が採択され、1946年に創建された国際連合の専門機関です。

2年度における会長所感

会長 原 清



昨年度は、大震災という不測の事態と、原子力発電所の事故に起因する放射性物質の放出が危惧された年でした。

当協会は「東日本大震災子ども支援募金」を推し進め 230,950 円の募金が出来ました。会員各位のご協力に感謝申し上げます。

海外との連携において「書き損じハガキキャンペーン」の参加につきましても世界寺子屋運動を通じ教育支援活動として諏訪地域小中学校全校 47 校 17,000 名の参加を戴き、一般も含め 45 万円の協力ができました。心から感謝申し上げます。

第一期後半の2年目ですが、本年も基礎となる『諏訪地域を知る』勉強を進めます。会員皆様の積極的な参加をお願い致します。

地域遺産部会

1. 諏訪地域の文化遺産を知ろう
2. 諏訪地域の文化遺産の研究者との連携による遺産保護活動
3. 諏訪地域の自然遺産の学習

寺子屋運動部会

1. 寺子屋運道の認知度の向上と充実
2. 書きそんじハガキの回収運動
諏訪地区6市町村小中学校児童対象

平成24年度 各部会 事業計画

地域実践部会

1. 諏訪湖アダプトプログラムの実施
2. 子ども科学クラブ活動の後援

広報部会

1. 諏訪ユネスコ通信発行
2. ユネスコ活動の広報

平成 24 年度定時総会開催



平成 24 年度定時総会が 5 月 17 日（木）午後 1 時より諏訪市ベルファインにて一般会員 45 名、賛助会員 2 名、来賓に諏訪市副市長、茅野市教育長、下諏訪町教育長、原村教育長、諏訪市教育次長が出席し開催された。

第 1 部「総会」は会則に基づき会長が議長となって平成 23 年度事業報告、決算報告があった。「東日本大震災子ども支援募金」に対し

谷沢信憲会員の「イラスト展」日達れんげ会員の「切り絵展」開催による収益金 135,960 円を寄付、世界寺子屋運動では地区内 6 市町村小中学校を対象とした「書きそんじハガキ」10,324 枚を回収し、金額 455,621 円を日本ユネスコ協会連盟に送った旨報告された。

平成 24 年度事業計画、収支予算書につき各担当部会長より報告、提案があった。地域遺産の理解を深め保護に努める。諏訪湖アダプトプログラムの継続。諏訪子ども科学クラブ後援による次世代を担う青少年活動支援。世界寺子屋運動の継続。広報誌の発行等の事業が承認された。



東日本大震災子ども支援募金に協力した谷沢、日達両会員に感謝状が贈呈された。



第 2 部「公開講座」は演題「長野市における世界遺産運動の取り組みについて」講師：工学博士（都市計画家）長野ユネスコ協会副会長・若林時郎先生の講演が行われ、長野市の善光寺を中心とする都市づくり、善光寺の世界遺産への取り組みについて講演された。世界遺産として認められることへのむずかしさが話され、諏訪地方での世界遺産登録の遺産内容の選定の困難さを感じ取った講演であった。

第 3 部「アトラクション」矢野要子会員、志村吏絵賛助会員による越後の女二人語り「おこんじょうり」が演じられ、その熱演に聞き入り、心に残る公演であった。

第 4 部「祝賀会」は会員の交流を深め、本年度の活動への協力作りにつながった。



パレスチナのユネスコ加盟余波

鎌倉ユネスコ協会 副理事長 尾花珠樹

ユネスコ総会は10月31日、パレスチナを正式加盟国として承認した（賛成107、棄権52、反対14カ国）これが今オバマ大統領を窮地に追い込み、ユネスコも再び財政危機へ追い込まれ兼ねない状況を招いている。

アメリカが再び脱げるのか

就任以来、国連を通じた国際協調を外交の主軸に、イスラエルとパレスチナ和平交渉の仲介役も担ってきたオバマ大統領に対し、パレスチナのユネスコ加盟阻止に失敗したとするイスラエル擁護の非難が集中している。米下院では「パレスチナの地位を向上させようとする国際機関への分担金拠出を停止する、より厳格な法律導入を主張する動きが起こっている」とも報じられている。（2011.11.2朝日新聞）。

年間62億円にのぼる拠出金を米国が凍結すれば、ユネスコは米国脱退時代（1984～2002）に負った困難に再び直面する。加えて凍結が2年間続けば、米国は加盟国の資格を失う。松浦晃一郎ユネスコ前事務局長たちによる米復帰実現の尽力も無に帰す事態ともなる。

もっとも米国の分担金一時凍結は今に始まったことではない。

1970年代にユネスコが「イスラエル非難決議」を採択したときも起きている。

ノーベル平和賞受賞者の受難

1994年のノーベル平和賞受賞者はパレスチナのアラファト議長とイスラエルのラビン首相らが仲良く受賞した。前年の「中東恒久和平への道＝オスロ合意」への両国トップの功績が認められての受賞であった。ただし翌95年、ラビン首相はテルアビブでの平和集会席上で、和平反対派のユダヤ人青年によって銃殺され、世界中がその死を悼み悲しんだ。

オバマ大統領も2009年にノーベル賞を受賞している。今回のパレスチナのユネスコ加盟に、棄権の立場を選んだ日本を含め関係各国の協力で事態が打開されることを期待してやまない。

平山画伯の大きな夢

思い出すことがある。生前の平山郁夫ユネスコ親善大使がひそかに温めておられた大きな構想である。

それは、イスラエルとパレスチナの国境をまたぐ地帯に「平和のための大学」建設の夢だった。その大学には両国側にそれぞれ入口があり、中に入れば他の多くの国からの学生に交じって両国の学生も共に学び研究にいそしめる場を作ろうというものであった。「日本の経済界にも賛同者は居られます。異なった文化が交流し、スパークしたとき、大きな花が咲くのです」と、熱く語られておられた。

国連の良心、ユネスコ

創立以来、「国連の良心—Conscience of the U.N」と言われ続けてきたユネスコは、2001年に「文化の多様性宣言」を採択し、文化間の対話を促進している。

同宣言にしても、いま注目を集めているESD（持続可能な発展を視野にした教育）にしても、総論賛成・各論無関心は許されまい。ユネスコ憲章前文は明記している。真に永続する平和実現のためには政府だけでなく、市民の知的・道義的連帯が不可欠なのだ。いま、私たちは問われている。

最後にもう一つ思い出した。鎌倉ユネスコ協会は創立翌年1989年、初めてのバザー収益金を国連パレスチナ難民キャンプで学ぶ子供たちのために寄託したことを。

世界寺子屋運動実施

「書きそんじハガキの回収」10,324 枚

寺子屋運動部会は第1回部会を平成23年6月21日に行い、寺子屋運動の趣旨を会員に説明し協力を要請、活動の取り組みについて協議をした。

第2回部会では部員、理事、事務局、広報部員が合同で「日本ユネスコ協会連盟」のホームページ「世界寺子屋運動」を参考に学習した。

第3回部会にて諏訪地区6市町村の小中学校生徒を対象に世界寺子屋運動の趣旨を説明し「書きそんじハガキの回収」をすることとし、地区ごとに担当責任者を決め各市町村の教育長、学校長に趣旨説明と協力依頼を行う事とした。

第4回「書きそんじハガキ回収ボックス」の製作、PR用チラシ、CD等の製作に取り掛かった。

各地区の進行状況の情報交換を行った。

12月上旬6市町村小中学校47校、生徒17,287人に対し趣旨説明と協力依頼のチラシ、回収ボックスの設置を行った。

2月上旬各学校から「書きそんじハガキ」の回収を行った。

「書きそんじハガキ」を切手に交換、それを協力企業により切手を現金化した。

第5回部会にて最終の集計作業を行った。

集計結果は以下の通り

市町村名	生徒数	回収数	募金額
岡谷市小中学校合計	4,479人	1,252枚	56,133円
下諏訪町小中学校合計	1,621人	1,370枚	60,598円
諏訪市小中学校合計	4,314人	3,852枚	172,122円
茅野市小中学校合計	5,028人	1,382枚	58,005円
原村小中学校合計	614人	313枚	12,927円
富士見町小中学校合計	1,221人	788枚	35,460円
6市町村小中学校合計	17,287人	8,967枚	395,245円

その他の施設	回収数	募金額
家庭教育センター	64枚	28,804円
いずみ書房(株)	745枚	33,496円
諏訪ユネスコ事務局	256枚	11,520円
その他一般	292枚	12,480円
合計	1,357枚	60,376円

総合計 10,324枚 455,621円を日本ユネスコ協会連盟に募金

事務局だより

※第9回理事会報告 平成24年4月9日(月)午後7時、於；事務局

1. 平成23年度事業報告、決算報告の審議
2. 平成23年度監査報告
3. 平成24年度事業計画、予算案審議
4. 平成24年度定時総会について検討
 - ・5月17日(木)午後1時開催。来賓に顧問、諏訪地区6市町村教育長
 - ・「公開講座」講師長野ユネスコ協会副会長(工学博士)若林時郎先生に依頼講演テーマ「長野市における世界遺産運動の取り組み」
5. 新入会員承認
永田エセ子、尾上正弘、永沢俊是、北田耕一郎の入会承認
賛助会員、志村吏絵、佐藤勝久の入会を承認

※第10回理事会報告 4月23日(日)午後7時、於；事務局

1. 平成23年度事業報告、予算案の総括承認
2. 平成24年度事業計画、予算案につき各担当部会長より説明があり承認
3. 平成24年度定時総会準備につき詳細審議、次回理事会は総会会場にて準備状況の確認を行うこととした。
4. 事務局住所変更の件
日本ルーフ(株)内、エコラボクラブより、(株)丸清建設3階に変更

※第11回理事会 5月10日(木)於；ベルファイン

1. 総会準備状況の確認
出席者、委任状の状況、来賓出席者の確認、講師送迎手順、会場にて総会議事進行手順、テーブル配置、懇親会会場の配置の確認、報道関係者へのPRの確認等。

※平成24年度定時総会開催 5月17日(木)午後1時～午後4時 於；ベルファイン

※第12回理事会 5月30日(水)午後7時より、事務局(丸清建設)にて

1. 新入会員の承認
鈴木 清の入会を承認
2. 富士見地区担当理事交代について
小林市子理事の後任として鈴木 清を富士見地区担当理事、寺子屋副部会長を担当することを承認。
3. 平成24年度総会会計報告の件
会計報告の承認、総会会費より日本ユネスコ協会連盟へ教育義援金41,000円募金。来年度より総会会計は単独会計でなく本会計に繰り入れて処理する事とした。
4. 平成24年度定時総会総括
5. 「中部東ブロックユネスコ活動研究会 IN 山梨市」への参加について審議。
会員の参加を要請するための案内状の配布と参加申込書の配布。